

渡良瀬遊水地保全・利活用協議会 第3回合同部会 議事要旨

日 時：平成26年9月24日（水）15時00分～16時40分

場 所：利根川上流河川事務所 2F 大会議室

出席者：別紙出席者一覧表（構成員：44 団体中 30 団体（38 名）、
オブザーバー：4 団体中 2 団体（2 名）が出席）

<議事要旨>

※合同部会については、栃木市と小山市が交互に事務局を務め、前回は栃木市が担ったので、
本会は小山市企画財政部渡良瀬遊水地ラムサール推進室 篠原係長で司会進行。

1. 開会

司会より開会の辞。

2. 挨拶

※部会長を務める小山市企画財政部渡良瀬遊水地ラムサール推進室 岡部室長より。

- ・10月からは2つの部会が始動。今回の合同部会では、各部会で検討・議論をすすめるテーマについて、洗い出し、整理を行う。
- ・今回の合同部会は、グループワーキングを実施して議論を進めていく。

3. 議事

※以降、部会長である小山市 岡部室長が議長となり、議事を進行。

○第2回合同部会にかかる質疑応答

前回の情報提供について意見や質問の時間をとったが、発言がなく議題へ。

(1) 各部会テーマの整理

- ・今回の会議が、合同部会として最後の開催となる。
- ・次回10月に開催する「第1回賢明な利活用検討部会」として開催予定。
- ・次回の部会開催に向けてテーマ整理を行うが、その方法を事務局から説明。

【事務局 篠原係長より説明】

- ・活発に意見を出してもらうため、2グループに分けて進め、その後、全体で1つにまとめ、次回以降の部会のテーマとしていく。
- ・Aグループの進行役は、小山市 岡部室長が担当。Bグループの進行役は、栃木市 荒川主幹が担当。
- ・グループ分けは、配布資料のとおり。
- ・今後議論したいテーマを付箋1枚につき1テーマとして記載し、どの部会に当てはまるかを各グループで議論し、その後、全体で再度確認。

※Aグループ、Bグループに分かれて討議

【議長と事務局により全体とりまとめ】

※AグループとBグループからのテーマをキーワードでまとめる。

取りまとめ結果は別紙資料のとおり。

【議長より】

- 各部会のキーワードを発表。
- スケジュールでは、次回「賢明な利活用検討部会」を開催。今回あげた意見やテーマをどのように進めていくか、優先順位等を議論していきます。
- 全体をとおして意見等を求める。

○わたらせ未来基金 内田氏より

- 第2調節池の湿地は再生しているが、保全をどのようにしていくかという課題もあるので、短期で進めていくテーマと長期で進めていくテーマとで分けて議論を進めて頂きたい。

○渡良瀬遊水地第2調節池周辺地区治水事業促進連絡協議会 米田氏より

- 思川と巴波川の治水の議論をお願いしたい。
- 野渡橋の開通に向けた議論をお願いしたい。

○渡良瀬遊水地野鳥観察会 一色氏より

- アクセス道路等、過度な施設整備は避けて頂きたい。
- 野渡橋が通行止めとなった経緯を踏まえ、施設管理者の安全対策の責任だけではなく、利用者の自己責任、心構えが必要であることを認識して欲しい。

○渡良瀬遊水池を守る利根川流域住民協議会 猿山氏より

- 「賢明な利活用検討部会」にあげているキーワードで「全体計画」は、ほぼ「遊水地の将来像」となる。このキーワードは、4部会の真ん中において強調して議論をお願いしたい。

【議長より】

- 今後の部会は、2部会（賢明な利活用検討部会、遊水地保全・再生検討部会）で進めていく。

【司会より】

- 2部会参加のアンケートを行ったが、部会はオープンなので、全構成員へ次回の部会の開催案内を送付するので、出欠の回答願う。

4. その他

○栃木県より情報提供（チラシを配布）

- 平成26年10月19日（日）開催、渡良瀬遊水地外来植物除去活動

○渡良瀬遊水地野鳥観察会 一色氏より情報提供（チラシを配布）

- オオセッカの調査報告

【事務局より】

- 次回開催の案内

5. 閉会

司会より閉会の辞。